

Q. 集落内の安全対策は



おかじま つよし
岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

A. 緩やかな段差や狭さを設置

八剱神社北側交差点の形状が、令和4年に開催された「基幹的広域防災拠点に係る周辺道路説明会」において、西からと北からそれぞれ交差点に入る県道を主たる道路とする「逆エル字型」との説明がされた。

説明会の質疑の中で住民の方からさまざまな不安の声が聞かれた。

その不安の声を受け、同僚議員5人とともに、令和4年10月、愛知県尾張建設事務所長に対し「ラウンドアバウト交差点」に変更するよう、「要望書」を提出した。

その後、公安委員会との協議も整い「ラウンドアバウト交差点」の計画発表がされる予定である。

Q 「ラウンドアバウト交差点」の整備に向けた事業スケジュール、地権者などの協力を得るための取り組みはどのようになっているのか。

A 産業建設部長
6月25日、27日の説明会

新役員就任

議案 PICK UP

一般質問



ラウンドアバウト交差点へ変更

で、愛知県より説明をする。関係する地権者には個別に計画案を、県、町一体となって丁寧な説明を行い、計画への理解を求めていく。

Q 防災拠点南側の集落への車両進入が増えるのではないかと声を聞く。集落内の安全対策が必要ではないか。

A 産業建設部長
路面標示や看板設置による周知はもとより必要に応じて、車道に緩やかなランプや狭さく部を設置する。
また、開渠の有蓋化や老朽化した側溝の改良を行うなど、周辺対策も検討する。

A.Q. 豊山スカイプールの在り方は

A. 令和6年度を最終開場

豊山スカイプールの在り方について、令和3年12月の定例会で同僚議員から一般質問があり、年間約70日の開場期間で利用者は約4万5000人そのうち住民の利用率は約30%しかない。また、改修費用や年間の指定管理料など今後30年間で約10億円以上の維持管理費用が必要となることが分かった。

当時、教育長からは豊山スカイプールの在り方について、生涯学習推進審議会において議論をいただきたいと考えていると答弁があった。

Q 生涯学習推進審議会ですれた議論の内容は。
A 教育委員会事務局長
委員からは「廃止されることも止むを得ない」「代替措置としてプールなどのスポー

ツ施設に限らず賑わい施設などが求められないか」という意見があり「これらの意見を踏まえ、町として適時適切に判断されたい」との答申を受けている。

Q 議論をした結果、どのように考えているか。

A 教育長
生涯学習推進審議会の答申などから、豊山スカイプールの廃止せざるを得ない。時期は、令和6年度を最終開場とすることが適当である。



廃止予定の豊山スカイプール